

北里大学理学部同窓会報

2026年 第29号



北里柴三郎記念館シアターホール 写真提供：北里柴三郎記念館

● CONTENTS ●

会長挨拶……………	P 2	同期会報告……………	P 6
卒業研究功労賞……………	P 3	小国町ツアー……………	P 7
2025年度理学部教員と理学部同窓会役員との 懇談会の開催……………	P 3	近況報告バトンタッチ……………	P 9
2025年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 4	理学部事務室より……………	P 11
		就職センター／同窓会からのお知らせとお願い…	P 12

理学部同窓会ホームページ：
<https://kitasato-rigaku-d.jp> または <https://北里大学理学部同窓会.jp>





昨今感じたこと

理学部同窓会長 甲斐 恒人
(HC20)

会員の皆さまには、大過なくお過ごしのことと拝察申し上げます。本稿では、本会や母校北里大学の前年度からの経過を振り返ってみることからはじめさせていただきます。

まずは、本会ですが、前年度より理事会に陪席をお願いしておりました森真美子さん（SB14、一般教育部自然科学教育センター生物学単位所属）が今年度の定期総会でご承認をいただきまして、新たに理事会メンバーに加わりました。このことで前年度から就任した理事2名と合わせて理事総数が19名となり、世代交代が一層進むとともに理事会での意見の多様化や活性化が期待されています。

次に母校北里大学においては、今年度（2025年度）相模原キャンパス内に獣医学部グリーン環境創成科学科が旧看護学部校舎に開設されました。同学科は人間だけでなくすべての生物が健康に生きられる社会の実現をめざして「デジタル」と「グリーン」という新しい知識と技術を武器に、生物多様性の保全、持続可能な食料生産、水環境の修復、温室効果ガス排出削減などに取り組み、自然と共生する社会を作り上げる人材の育成を目指しています。

さらに今年度は相模原キャンパスの旧ドミトリ一跡地に大規模な中央図書館が完成する予定です。開館後には学生や教職員はもとより卒業生も利用できるものと思いますので、是非一度お尋ねいただき、久々に専門書の頁をめくられてみてはいかがでしょうか。

さて、昨年は新日本銀行券（千円札）の肖像画

に学祖北里柴三郎博士が採用されましたことが、大きな話題になりました。このことは、卒業生はもとより関係各位にとって大いに嬉しく、誇らしく思うことだったと思います。ひいては、多くの方々に学祖のことや北里大学を改めて認識していただける契機になるものと解しておりました。それは本年8月に開催された「北里大学同窓会岐阜県支部夏休み親子理科おもしろ実験教室」に参加したときの経験談です。イベントの講師が、北里柴三郎博士について知っているか質問したところ、参加児童6名中5名から手が上がりました。この結果を皆さまはどう感じられるでしょうか。こどもですら8割以上が認知していると思うのか、それとも新紙幣が出回っているのにまだ新紙幣の肖像画に関心のない人が2割近くいるのでしょうか。

ともあれ、小生はご縁がありまして本会会長ならびに北里大学同窓会支部担当常任理事を拝命していることから、この先、様々な方法を駆使して学祖や北里大学を多くの方々に周知するよう努めてまいりたいと強く考えています。その一環として、これから10年後には、「2035年高齢者増加と少子化による現役世代の減少問題」が控えていることから、たとえば岐阜県支部のイベントをさらに発展させた内容で、理科の魅力、そして母校のすばらしさを広く伝えることができればと思案しているところです。

つきまして、本会会員の皆さまには、引続き温かいご支援を重ねてよろしくようお願い申し上げます。

2026年度 年会費納入のお願い

本会のより活発な活動のために
年会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円

納入方法：

- 1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合：
 - 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900
 - 店番 029 ■ 預金種目 当座
 - 店名 ○二九店（ゼロニキユウ店） ■ 口座番号 0060155
- 2) 郵便振替の場合：
 - 口座番号：00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

卒業研究功労賞

令和7年3月24日（月）、UNION HARBOR（横浜）において北里大学理学部卒業記念パーティーが開催され、本会甲斐会長より第19回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

卒業研究功労賞を受賞して

SP28 久間さくら

2025年3月に理学部物理学科を卒業いたしました、久間さくらと申します。このたびは卒業研究功労賞を頂戴し、また会報誌への寄稿の機会を賜り、心より御礼申し上げます。

大学生生活を振り返りますと、生まれ育った福岡を離れ、知り合いのいない未知の土地で慣れないことも多く、不安と寂しさを感じることも少なくありませんでした。そんな中で、同じ学科や教職課程で出会った友人たち、そして趣味である野球観戦が日々の支えでした。

恥ずかしながら、3年時までは、学業に積極的とは言えず、唯一誇れることは教職の授業を3年間受け続けていることでした。

このままでは大学生活に悔いが残ると思い、3年後期の研究室選択の際に、残りの1年は本気で学びに取り組もうと決めました。研究室の先生方や先輩方の温かいご指導もあり、充実し自身の成長にも繋がる1年となりました。

また、コロナ禍で中止されていた卒業パーティーも再開され、僣越ながら委員長を務めさせていただきました。会場の手配や書面の作成など慣れない仕事に苦労もありましたが、自分が携わったその場で、卒業研究功労賞をいただき大変嬉しく存じました。

これからは同窓会代議員として、母校とのご縁を大切にしていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



受賞者集合写真（左から1番目：久間さん）

2025年度理学部教員と理学部同窓会役員との懇談会の開催

HC18 須貝 昭彦

2025年10月4日（土）17時30分から、相模大野の「すし魚菜 かつまさ」にて懇談会を執り行いました。

理学部教員4名と理学部事務長、同窓会役員9名が参加しました。今年から職員と教員とを別々に行うことになって初めての懇談会となりました。昨年までの7月の開催では、PPAの総会の日と被る事が多く、先生方が遅れて参加することが多かったのですが、10月の開催ではそのようなこともなく、スムーズに会を進行することができました。また、昨年までは教職員と同窓会執行役員とが同じテーブルを囲んで会を行っていましたが、今年は先生方に分かれて座っていただき、より多くの理事が教員と意見交換を行えるようにしました。理学部同窓会長ならびに学部長の挨拶、参加者の自己紹介を行うとともに、親睦を深めました。今後も理学部同窓会の理事と教員

とで情報を共有し、理学部の発展に寄与するような活動ができればと思います。



集合写真



2025年度理学部同窓会定期総会報告



1 開催日時・場所

- (1) 日時：2025年5月17日（土）13：00
- (2) 場所：相模原キャンパスL2号館3階309講義室

2 形式

- (A) 対面方式
- (B) オンライン方式（Zoom）
- (C) 書面審議方式
- (D) 議長への表決委任

3 出欠者

(1) 出席者100名

（代議員75名）

西尾公男、竹澤美男、中野勝雄、小沼和久、石原裕三、麻生綱男、石川一郎、石水和夫、國香 清、氏家重夫、衣川佳美、雨宮純子、伏見尚登、田所順一、飯島 宏、鈴木芳弘、山下宣行、椎名文乃、小笠原正勝、櫛部一彦、佐藤康之、鈴木美香、渡辺知広、平井正美、石原 稔、伊藤昌史、坂内健志、嶋宮民安、篠川裕子、井村幸介、桑原美保子、小林麻依、武者孔佑、田草川英昇、今村 敦、奥田悠介、杉本 愛、原 英寿、須藤愛莉咲、久間さくら、中條総子、藤井祐介、東海林周平、荒木恒平、曾根靖人、厚木将志、逸見拓谷、新美 恭、沖山悠太、吉成英里佳、沼上智美、小宮隆寛、牧野健太郎、坂元風舞、中西伸一郎、旭 将太郎、吉瀬晴子、江島史緒、吉本真紀子、三浦慎一郎、佐々木千明、江澤絵真、菅谷大地、石毛達也、上村和豊、新山勇人、千葉 慧、小田本実佳、小田祐介、小寺穂乃花、小澤咲乃、常重貴裕、平尾 唯、尾崎邦洋、嶋崎隆太郎

（役員25名）

長原勝彦、蓮沼良一、藤本玲子、島崎道広、内田 宏、森 孝之、須貝昭彦、甲斐恒人、八井田文子、木村武俊、千葉貴子、西條 護、前川敏郎、福山勝也、村上裕章、酒井利奈、中野章代、田村 啓、松本俊英、前田晴紀、齋藤昂良、森 真美子、霜田れもん、野原 歩、太田昌美

(2) 欠席者37名

(3) オブザーバー

沼上清彦 名誉会長

4 開会の辞

司会の野原歩理事（SB24）から、総会の成立要件は、規約第15条第1項第2号により、「総会の成立は構成員の3分の1以上の出席を必要とする。」と規定されており、構成員147名に対して、100名の出席（対面 34名、Zoom 3名、書面審議 29名、議長委任 34名）があり、本会は成立することが報告され、開会が宣言された。

5 議長団の選出

公正な表決と議事録の対応にあたるため、以下の議長団と議事録署名人が選任された。

- ・議長：小田祐介 代議員（SB22）
- ・副議長：内田 宏 理事（HC14）
- ・議事録署名人：坂内健志 代議員（HB1）、
藤本玲子 理事（HC12）

6 会長挨拶

甲斐恒人会長（HC20）より、定期総会への出席に対する謝辞が述べられた。あわせて、学祖・北里柴三郎博士の新紙幣肖像化を慶するとともに、本会に理事を1名増員して組織体制を

一層強化していく方針が示された。

7 決議事項

第1号議案、第2号議案、第3号議案について

初めに第1号議案2024年度事業報告、第2号議案2024年度収支決算報告、第3号議案2024年度監査報告が以下のように提示され、賛成多数で承認された。

第1号議案 2024年度事業報告

- 1) 会報の発行
同窓会報第28号（通算54号）を2025年1月31日（金）に7,000部を発行した。
- 2) 理学部教職員との懇談会
2024年7月6日（土）17時30分～19時30分に相模大野にて学部教職員と本会役員との懇談会を開催し、相互理解を深め、連携を強化した。
- 3) 会員集会への援助
2024年度集会援助の申請は2件あり、すべて承認された。
- 4) ホームページ等の運用
以下の項目などをホームページで適宜更新した。
・同窓会報第28号（通算54号）を掲載
・2024年度会務予定を掲載
・2024年度年会費納入のお知らせ
・理学部同窓会事務局の業務日時を掲載
- 5) 会員情報の管理
- 6) 理学部事務室との懇談会
2024年9月28日（土）17時00分～19時30分に相模大野にて理学部事務職員と本会役員との懇談会を開催し、相互理解を深め、同窓会運営に関わる連携を強化した。
- 7) 理学部若手教員学術集会への支援
理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」が開催され、本会からの援助金を支給した。
- 8) 第61回北里大学同窓会公開講演会（薬友会担当）開催への協力
- 9) 第19回「卒業研究功労賞」の表彰
- 10) 準会員事業（卒業記念パーティー）への協力
理学部卒業記念パーティーに本会より5名が出席し、祝い金を持参すると共に来賓として田村副会長が祝辞を述べた。
- 11) 準会員との連携強化
新規事業として準会員の興味関心を引き、理解を深めてもらうため、サイネージを活用し「理学部同窓会」関連の情報発信を行った。
- 12) 熊本県小国町訪問（全学同窓会行事）への支援
全学同窓会主催の当該事業が実施され、理学部同窓会会員の参加者に対して1名あたり1万円（北里カップルの場合は1組）の支援を行った。
- 13) 退任教授への花束贈呈
2025年3月19日（水）14時00分～16時00分に相模原キャンパスL1号館41講義室にて一般教育部の退任記念講演会が開催された。自然科学教育センター化学単位の須貝昭彦教授（理学部同窓会副会長）【演題：46年間の軌跡（奇跡）】の講演が行われ、本会より11名が出席し、須貝昭彦教授に花束を贈呈した。
- 14) 理学部同窓会代議員推薦等にかかる細則の改正
2024年度定期総会において石原代議員から代議員の定年制についての取り決めはないのかという主旨の質問があり、沼上名誉会長から本会としての考え方を、甲斐会長からその旨を近々明文化したいとの回答が行われた。これに基づいて、2024年度第3回理事会において、理学部同窓会

代議員推薦等にかかる細則を改正した。

〔理学部同窓会代議員推薦等にかかる細則（最終改正2024年10月5日）〕

（代議員）

第2条 代議員は、各科各期より1名ずつの推薦により、総会で選任し、総会の構成員となる。ただし、同科同期において、代議員の死去や高齢化等を事由に代議員に欠員を生じ、かつその補充が望めない場合は、北里大学理学部同窓会規約第10条第2項並びに本細則第6条及び同第7条の規定にかかわらず理事会の承認を以て、当該科・期を総会構成員から除くことができる。

※下線が追記された部分

第2号議案 2024年度収支決算報告

収入の部

（単位：円）

費目	① 予算	② 決算	増減(②-①)
学部還元金	4,628,000	4,628,000	0
年会費	330,000	338,000	8,000
会報送料補助	469,000	469,000	0
利子	200	5,028	4,828
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	42,000	42,000*
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	1,567,118	1,567,118	0
合計	6,994,318	7,049,146	54,828

※雑収入の内訳は、HC6同期会からの寄付金30,000円、千葉理事からの寄付金12,000円である。

支出の部

（単位：円）

分類	大項目	中項目	① 予算	② 決算	増減(②-①)	
運営費	会議費	総会費	1,800,000	1,071,671	1,742,804	△ 57,196
		理事会費		567,221		
		委員会費		103,912		
	事務局費	事務人件費	1,680,000	1,238,313	1,357,333	△ 322,667
		通信費		42,196		
		物件費		76,824		
		雑費		0		
	渉外費	慶弔費	300,000	10,000	160,480	△ 139,520
		交際費		150,480		
	事業費	集会援助費		200,000	76,140	△ 123,860
会報発行			1,350,000	1,824,365	474,365	
教職員との懇談会			250,000	208,010	△ 41,990	
講演会協力費			100,000	76,760	△ 23,240	
学術集会補助			50,000	50,000	0	
卒業研究功労賞			250,000	170,710	△ 79,290	
広報費			100,000	36,051	△ 63,949	
準会員支援			150,000	100,000	△ 50,000	
全学同窓会行事への支援			100,000	100,000	0	
積立金			600,000	600,000	0	
次年度用事業資金		0	0	0		
予備費		64,318	0	△ 64,318		
合計		6,994,318	6,502,653	△ 491,665		
次年度繰越金					546,493	

北里大学理学部同窓会 貸借対照表

2025年4月1日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	78,818	前期積立金	14,220,638
郵便貯金	638,095	次年度繰越金	546,493
普通預金	6,716,363		
事務局用普通預金	228,058		
定期預金	7,105,797		
合計	14,767,131	合計	14,767,131

第3号議案 2024年度監査報告

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規定に基づき、2024年度（自・2024年4月1日 至・2025年3月31日）の会計並びに事業の執行を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

2025年4月5日

北里大学理学部同窓会

監事 馬場 啓太郎
監事 村上 裕章

第4号議案 新代議員選任（3名）の件

2024年度卒業生（理学部28期）から、学部が推薦する以下の代議員候補者3名を新代議員に選任することが提案され、賛成多数で承認された。

物理学科 久間さくらさん
化学科 旭 将太郎さん
生物科学科 嶋崎隆太郎さん

第5号議案 役員選任（1名）の件

森 真美子さん（SB14）を新理事として選任することが提案され、賛成多数で承認された。

会長 甲斐恒人（HC20）
副会長 須貝昭彦（HC18） 田村 啓（SB4）
松本俊英（SP8）
理事 蓮沼良一（HC11） 島崎道広（HC12）
藤本玲子（HC12） 内田 宏（HC14）
森 孝之（HC14） 八井田文子（HC19）
千葉貴子（HC28） 木村武俊（HB1）
西條 護（HB4） 前川敏郎（HB4）
福山勝也（HC31） 酒井利奈（SP1）
中野章代（SC3） 前田晴紀（SC9）
齋藤昂良（SB10） 森 真美子（SB14）
霜田れもん（SB22） 野原 歩（SB24）
太田昌美（SB25）

監事 長原勝彦（HC1） 村上裕章（HC31）

※下線は新役員

第6号議案と第7号議案について

以下の第6号議案2025年度事業計画案と第7号議案2025年度収支予算案が提案され、賛成多数で承認された。

第6号議案 2025年度事業計画案

- 1) 会報の発行
同窓会報第29号（通算55号）を2026年1月に発行する。
- 2) 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を2025年10月に開催する。
- 3) 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。
- 4) ホームページ等の運用
・新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。
・SNS（X：旧Twitter）での情報提供に関して運用を継続強化する。
- 5) 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針および個人情報保護規定に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。

- 6) 理学部若手教員学術集会への支援
理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」に対して援助する。なお、この会の活動は、理学部も認知しており、理学部（自己点検委員会）から業績の評価対象になっている。
- 7) 北里大学同窓会公開講演会への協力
2025年度に医学部同窓会が担当して開催される北里大学同窓会公開講演会に協力する。
- 8) 第20回「卒業研究功労賞」の表彰
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 9) 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 10) 準会員との連携強化
引き続きサイネージを活用し「理学部同窓会」関連の情報発信を行い、準会員の興味関心を引き、理解を深めてもらう。
- 11) 事業のDX化に向けた検討
会報のデジタル配信、および会費納入のキャッシュレス決済の導入に向けた検討を始める。

第7号議案 2025年度収支予算案

収入の部 (単位：円)

費目	① 2025年度	② 2024年度	増減 (①-②)
学部還元金	4,033,000	4,628,000	△ 595,000
年会費	330,000	330,000	0
会報送料補助	784,000	469,000	315,000
利子	4,000	200	3,800
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	0	0
積立金戻入	800,000	0	800,000
前年度繰越金	546,493	1,567,118	△ 1,020,625
合計	6,497,493	6,994,318	△ 496,825

支出の部 (単位：円)

分類	費目	① 2025年度	② 2024年度	増減 (①-②)				
運営費	会議費	総会費	1,200,000	1,800,000	0			
		理事会費	500,000					
		委員会費	100,000					
	事務局費	事務人件費	1,300,000	1,430,000				
		通信費	50,000					
		物件費	50,000					
		雑費	30,000					
	渉外費	慶弔費	150,000	250,000				
		交際費	100,000					

分類	費目	① 2025年度	② 2024年度	増減 (①-②)
事業費	集会援助費	200,000	200,000	0
	会報発行	1,900,000	1,350,000	550,000
	教職員との懇談会	350,000	250,000	100,000
	講演会協力費	100,000	100,000	0
	学術集会補助	50,000	50,000	0
	卒業研究功労賞	150,000	250,000	△ 100,000
	広報費	50,000	100,000	△ 50,000
	準会員支援	150,000	150,000	0
	全学同窓会行事への支援	0	100,000	△ 100,000
	積立金	0	600,000	△ 600,000
次年度用事業資金	0	0	0	
予備費	67,493	64,318	3,175	
合計		6,497,493	6,994,318	△ 496,825

8 質疑応答

・松本副会長から第1号議案「2024年度事業報告の件」の際、石原稔代議員（HC32）から理学部同窓会代議員推薦等にかかる細則の改正について審議経過文言の一部の修正提案がなされた上で、当該議案が一旦可決された。その後、沼上名誉会長から、規約は「但し」に統一されているが、当該細則は第6条に「ただし」とあるので、今回の改正条文である第2条も「ただし」としたい旨の説明を行い、石原代議員の了承を得たうえで、原案どおり承認することが改めて、採決された。

※規約に「但し」の表現がある条文

- ・第11条第1項
 - ・第15条第1項第1号および第4号
 - ・第17条第1項第3号
- ・石原稔代議員（HC32）からウェブサイトの更新が滞っているとの指摘があった。また、書面審議のコメントにおいては、総会開催日時が確定され次第、ウェブサイトおよびX（旧 Twitter）を通じて迅速に告知するよう要望が寄せられた。これらの意見に対し、松本副会長からウェブサイトには1カ月前（4月17日）に掲載されているが今後、X（旧 Twitter）による発信を通して迅速な対応に努めるとの回答がなされた。

※総会終了後、理学部から理学部長 川崎健夫 教授、化学科長 石川春樹 教授、生物科学科長 江島耕二 教授、物理学科長（就職指導委員長兼任）三森康義 教授、事務長 浅沼寿郎 様に出席いただき、学部・各学科・就職・事務室などの近況について報告していただいた。また、記念写真を撮影後、L1号館2階学生食堂にて、懇親会を実施した。

同期会報告

衛生学部化学科7期生クラス会

HC7 石原 裕三

2025.11.11夢や京町しずく東京八重洲店で北里大学衛生学部化学科7期（1972年卒）クラス会を行った。東京駅八重洲口から徒歩3分程の会場は全国から日帰り参加ができる場所として選択し、11/11は覚えやすい日として設定した。化学科7期は97名が卒業し全員が後期高齢者となる今年、既に17名が他界している。コロナ等で6年振りのクラス会だが歳相応の不具合で参加できない人が多く、最終11名でのクラス会となった。みんな視力も落ちたが少人数ゆえお互い近くで顔を突き合せ話し始め

ると頭の中は二十歳前後の若き日に。楽しい時間を共有した。11名は少し淋しいが遠路参加して頂いた方々に感謝したい。





小国町ツアー

小国町ツアーに参加して

SB17 伊藤 駿瑛

皆様、はじめまして。2017年に生物科学科を卒業しました伊藤駿瑛と申します。この度、北里大学同窓会特別企画の小国町ツアーに当選し、同じく生物科学科卒業生の妻と参加させていただきました。北里柴三郎博士が新千円札に採用されたことを記念して3月に企画されたツアーで、博士のふるさとである熊本県小国町を1泊2日で巡ってまいりました。

今回のツアーは、現地でのバス移動や宿泊が無料とい



うありがたい企画で、観光は基本的に自由行動。そのため参加者同士、程よい距離感を保ちながら、各自のペースで楽しむことができました。快晴の中訪れた北里柴三郎記念館は特に印象的で、博士の生い立ちや功績に触れることができ大変勉強になりました。記念館の入り口すぐのところ北里柴三郎ご夫妻が植えられた杉の木が残っていますが、夫人の杉のほうが高く育っていたことが、何とも微笑ましく記憶に残っています。

宿泊先は非常に綺麗で、温泉が3ヶ所もある充実ぶりに感動しました。夕食時には自己紹介が行われ、さまざまな学部・年代の卒業生の方々と交流する中で、北里大学の歴史の深さと卒業生の活躍を実感しました。二次会のカラオケや三次会の部屋飲みにも参加させていただき、さらに交流を深めることができました。自由参加だったので、温泉でゆっくりされる方もいらっしゃり、それぞれが思い思いの時間を過ごせたようでした。

今回のツアーに参加させていただき、本当に良い経験になりました。北里柴三郎博士が生まれ育った熊本小国町の魅力を存分に味わうことができましたし、何より、普段なかなかお会いすることのできない様々な年代の先輩方と交流できたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。

改めて、今回のツアーを企画してくださった同窓会の皆様、一緒に楽しい時間を過ごしてくださったツアー参加者の皆様に心より感謝申し上げます。

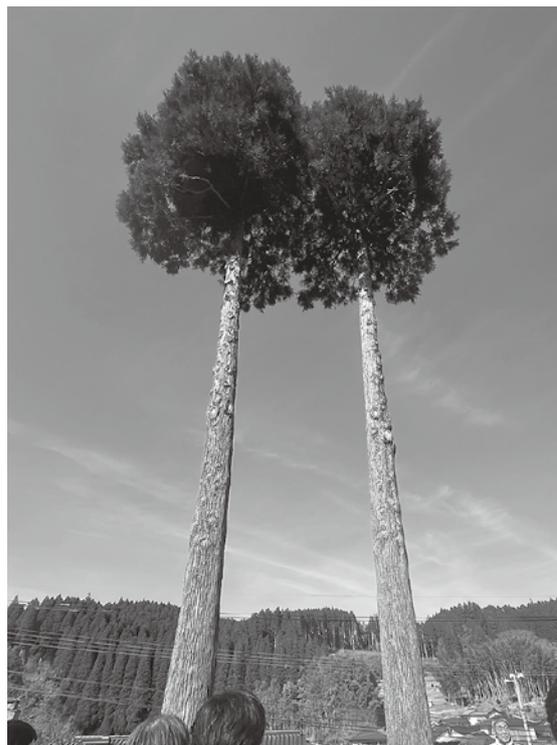
小国町ツアーについて

SB23 稲積しおり

北里柴三郎記念館では、北里柴三郎先生の幼少期の話から晩年までの話を映像で見ることができました。どのような経験を経てどのように物事を考えて行動していたのかを館長自ら説明していただけて理解を深めることができました。

特に印象に残った点は自身の研究のことはもちろんのこと、後学のための北里文庫の建設であったり、北里研究所の創設であったりをして、若者や後輩の教育にも重きを置いていた点です。このような行動が今の研究者の道を作ったのだと感じました。実際に文庫の中に入ることができ、当時の書物の希少さを感じると共に、使っていた器具もそのまま保存されていて驚きました。

また、北里記念館にはお手植えの夫婦杉や周りが見望できる貴賓館、生家がありました。夫婦杉は、実際の夫妻のように寄り添っているように感じました。貴賓館では、実際に北里柴三郎先生が見ていた景色を見ることができました。奥の涌蓋山まで見ることができ、その景色





は心が落ち着くようでした。

生家では、幼い頃に北里柴三郎先生が雑巾掛けをしていた廊下が展示されており、木でできているのですが、鏡の様に艶がありました。一度決めたことはやり通すという北里柴三郎先生の考え方がよくわかるエピソードと実際の廊下を見ることができて感動しました。

なかなか関わる事のない卒業生の方と出会うことができ、いろいろなお話を聞くことができました。また、このような機会があれば良いなと感じました。

北里柴三郎先生のお話を聞くことは多いですが、実際に使われていたものなどを実際に見たり、触れたりすることができて、その存在を実感することができました。このような有意義なツアーに参加させていただけてよかったです。ありがとうございました。



小国町ツアーについて

SB23 平尾 唯

2024年7月3日からの新紙幣発行を記念して北里大学同窓会の企画に参加いたしました。この旅行企画では、学祖・北里柴三郎先生の生まれの地である、熊本県の小



2日目に訪問した大観峰

国町を訪れ、記念館や観光名所にも行って参りました。その他にも熊本名産の赤牛や、杖立温泉も満喫し楽しい2日間を過ごしました。

まず、北里柴三郎記念館を訪問し、柴三郎先生が過ごされた生家をはじめ複数の建物や展示物を観賞しました。中でも書庫には先生が収集された書物や、北里文庫に保管されていた本もあり、この多さに圧倒されました。保管されていた新聞や本から多くの情報を収集していたこと、多くの本を北里文庫に並べ、教育にも力を入れられていたことを感じました。また、ドンネル館では、柴三郎先生の生涯と偉業についての短編映画を観賞しました。この映像作成に館長の英郎先生も尽力されたとのことで、熊本を訪れた方はぜひ一度行かれてみてはいかがでしょうか。

また、小国町が位置する阿蘇郡といいますと、阿蘇カルデラが思い浮かびます。今回はカルデラの北外輪山の最高峰である大観峰も訪問しました。天気は快晴とはならず雲が被っておりましたが、阿蘇谷と阿蘇五岳も眺めることができました。この阿蘇五岳は涅槃像に見えるということでも有名なようですが、私には少々難しかったです。しかし、広大な景色を堪能し、清々しい気分になりました。

そして、今回の旅行では、北里大学の先輩方とお話する機会もあり、皆様の北里愛も多く感じました。先輩方とのつながりや、学生時代の友人、お世話になった方々とのつながりも大切にしていきたいと感じるようなお話しも沢山いただきつつ、楽しく旅を終えることができました。

最後になりますが、今回の旅行を企画・運営していただいた方々に御礼申し上げます。

近況報告バトンタッチ

『私の近状について』

HB2 山下 義則

こんにちは。私は旧衛生学部生物科学科二期生の山下義則と申します。現在、コンタクトレンズのメーカーにて薬事を担当しております。小さな会社ですが、それなりの製品数を持ち、OEMなどを含めますと多数のブランドを所有しております。

この「近況報告バトンタッチ」は、優秀な先輩や後輩の方々が執筆されており、各々自信に満ち、読まれた方々にとっても、非常に満足度の高い内容となっている印象です。そんな中、特にこれといったことのない私が書いても良いのかと思いましたが、これまでの事を振り返る良い機会と思い、引き受けさせていただきました。

今在籍する会社の主な仕事は先ほど書きました薬事なのですが、薬事といってもいろいろな役割があると思いますので、簡単に言いますと、新製品を立ち上げる際、国に許可をもらうための書類作成やその他対応がメインの仕事です。そのほか社内のシステム構築と維持があります。いわゆるISOというものです。

十数年前から医療機器の製造販売業を取得するためには社内にQMSシステムを構築しなさい、という告知がなされています。それは具体的にいうとISO13485に準拠する事、という意味合いが強いです。

私の場合、以前お世話になっていた会社でもISOについていろいろと取り組んでおりましたので、違和感なく対応できております。

さきほど、ちらっと書いた「製造販売業」ですが、この業を営むために「いなければならない人達」という設定があります。薬局には「薬剤師」が必要、というイメージです。この人たちに該当するには誰でもよいわけではなく、なっても良い条件があります（要件と言います）。その中の一つに「化学科、工業科、生物科などの大学を卒業している」というものがあります。

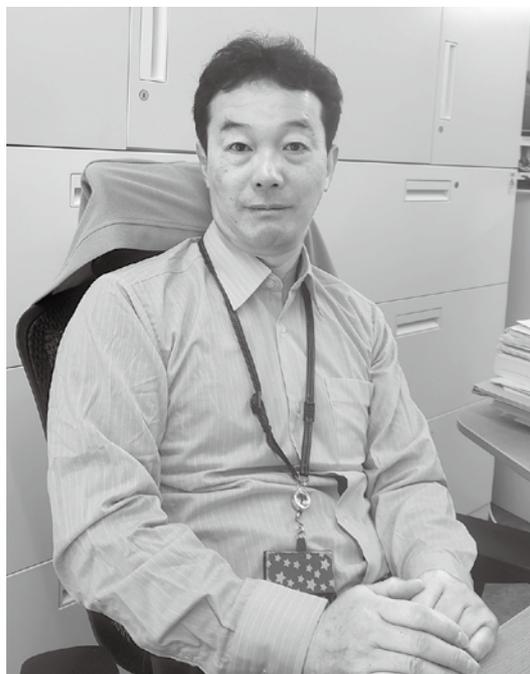
私は生物科学科卒業なのでこの要件に該当しますが、その証明のために卒業証明書とシラバスの提出が求められ、その際に数十年ぶりに相模原キャンパスを訪れたことがあります。私たちの頃にはなかった校舎が立ち並び、学生も多く見られました。懐かしく、また時の流れを感じました。更に形は違っても（学部名などが変わっても）、まだここに存在し、こうして帰ってこられる場所があることを嬉しく思いました。そして、この北里大学の卒業生であることに感謝いたしました。

私は会社を何社か変えつつ、医薬品、医薬部外品、医療機器、化粧品、体外用診断薬と、いろいろな業務に携

わってきました。そんな中、北里大学を卒業した方々にも巡り合うことがありました。旧衛生学部の卒業生（化学科）の大先輩にお会いしたときは、当時の何もなかったキャンパスのお話を聞けたり、医療衛生学部の後輩からは実習などの忙しかった日々のお話をしてもらったこともありました。私自身、大学時代において部活動等に参加しておらず、上下の関係が薄かったため、こういったお話を先輩や後輩から聞いたのはとても興味深い事でした。

私は衛生学部生物科学科を卒業後、所属研究室の修士課程に進みました。修士課程では、国立予防衛生研究所（現国立感染症研究所）を外研先として二年間研究を行いました。外研先では、私一人くらいしか学生は居らず、心細い時もありましたが、大学のキャンパスには大勢仲間がいて、夜遅くまで研究していることも知っていましたので、そういった事が私の心の励みとなり、無事卒業できたのではないかと今も感じています。

こうして書かせていただいた「近況報告バトンタッチ」ですが、私個人の現状と過去から今までにわたる北里大学とのかかわりをまとめる良い機会となりました。こういった機会をくださった関係者様に心から感謝いたします。ありがとうございました。



近況報告バトンタッチ

『からだの勉強は自分の勉強！』

SB8 鈴川 茂

2005年に生物科学科を卒業しました。TVアニメ「はたらく細胞」専属の細胞博士、兼、代々木ゼミナール生物講師の鈴川茂です。FC東京（Jリーグ）のサポーターでもあります。高校時代はバンド活動に明け暮れていました（大学時代も少しだけ、同級生と音楽活動をしておりました笑）。北里大学の在学中は古細菌（アーキア）の細胞膜に関する研究に取り組んでいました。「生化学」の講義で、アーキアの細胞膜のリン脂質では、グリセリンと炭化水素鎖がエステル結合でなくエーテル結合によって結合していることを知り、感銘を覚えたことがアーキアの研究を始めたきっかけでした。

細胞博士としての活動

“からだの勉強は自分の勉強！”をモットーとして、YouTubeで「はたらく細胞ゼミナール」を放映しております。はたらく細胞の声優さんたちと、からだの勉強をわかりやすく解説しております。また、2022年には日本テレビ「世界一受けたい授業」に出演し、より多くの方からからだの勉強の大切さを伝えさせていただきました。その他、東京都水道局、株式会社シスメックス、いせトピア（三重県伊勢市）や八戸市民大学（青森県八戸市）との連携で、からだに関する講演会も行なっております。様々な地方の方々との交流の中で、広い視野で生物学の素晴らしさを伝える喜びを実感しております。「世界一やさしい！細胞図鑑」（新星出版社）や「わかるから楽しい解剖生理テーマ50」（サイオ出版）などの執筆活動も行なっております。

予備校講師としての活動

2008年より代々木ゼミナールの生物講師として、教壇に立っております。代々木ゼミナールでは、サテライン放送で全国の学生に生物学の素晴らしさや大切さ、そして何より“面白さ”を全力で伝えております。生物学が好きな学生と触れ合う日々は、とても楽しく、充実しております。特に、思ってもみない角度からの発想や意見をもっている学生に出会うと、年甲斐もなく喜んでしまいます。代々木ゼミナールでは本部校（新宿）、名古屋校、新潟校に出講しております。また、教学社が発行する「赤本」の執筆も数多く行なっております（いつか北

里大学理学部の赤本も執筆してみたいです笑）。「共通テスト生物基礎 満点のコツ」（教学社）や「鈴川のとにかく伝えたい生物基礎テーマ75」「鈴川のとにかく伝えたい生物テーマ200」（ともに代々木ライブラリー）などの執筆活動も行なっております。

生物学は面白い！

北里大学理学部生物科学科出身という立場を利用して最新知見に触れることができる環境に身を置き、そこで生物学の研究にどっぷり浸かっていく人生も考えましたが、在学中に行っていた塾講師のアルバイトに勤んでいるうちに、教育業界での使命感を覚えてしまい、「全国に生物好きを増やしていきたい！」と思うようになりました。特に生物科学科で学んだ「分子細胞生物学」「発生生物学」「生化学」「免疫生物学」の分野を扱う際は、ついつい、高校の教科書のレベルを超えた説明をしてしまいます。他の卒業生の方ほど、生物学のさらなる専門分野をブラッシュアップしているわけではありませんが、生物学を俯瞰して勉強していくことで見える世界があると感じています。その上で、「生物学ほど面白い学問はない！」と、北里大学を卒業して20年経った今でも自信をもって言えます。そして、僕の今後の活動によって、生物学に詳しい人がもっと増えれば世の中はもっと良くなる。そう信じて生物学の素晴らしさや大切さ、“面白さ”をこれからも全力で伝えていこうと思います。



理学部事務室より

● 2026年オープンキャンパス開催情報(未定)

日程は決まり次第、北里大学ホームページ受験生サイトに掲載します。

各研究室を開放し様々な展示及び体験型実験教室、模擬授業等を開催する予定です。

● 2026年進学相談会

○入試対策講座開催情報(未定)

日程は決まり次第、北里大学ホームページ受験生サイトに掲載します。学部別入試対策講座はオンラインにて開催する予定です。

○北里祭・進学相談会開催情報(未定)

日程は決まり次第、北里大学ホームページ受験生サイトに掲載します。

サイエンスラボラトリー(物理学科)・教員による個別相談を実施する予定です。期間中は北里祭も同時開催されます。

● 入試過去問題

赤本オンライン (<https://akahon.net/kkm/kit/index.html>) にて公開しています(2024年度入試分から冊子での配布はしていません)。

● 理学部推薦入試説明会

学校推薦型選抜試験(公募制・指定校)での受験を検討している高校3年生に向けて、北里大学理学部および各学科の特徴や、模擬講義、受験に向けての勉強方法などを説明します。説明会後は、希望者へ理学部棟(S号館)内の施設設備をご案内します。

日程等の詳細は決まり次第、理学部ホームページにてご案内します。

● 国際交流

理学部では、国際的な視野を備えた研究者を育成していくためにも、海外の大学と連携し国際交流を図っていきたくと考えておりますが、長きにわたり実施してまいりましたハーバード大学との国際交流中断後、他の国際交流も含め実施できておりません。引き続き実現に向けて取り組んでまいりますが、同窓会の皆様からも国際交流に関する情報をお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 企業説明会について

学内での企業説明会のご要望など随時承っております。近年では数社の企業説明会を開催し、実際に内定をいただいたのち入社した学生も複数名おります。ご要望の際は、理学部事務室学生課へご連絡ください。

また、求人情報もお寄せいただけると幸いです。ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

● 理学部ホームページ

メインターゲットである高校生に興味を持ってもらえるよう北里大学理学部の特徴をアピールし、各学科の実習紹介動画(実習紹介ページから視聴できます)も掲載しております。ぜひご覧ください。



● 理学部公式X

理学部の入試情報や、物理学科・化学科・生物科学科の最新情報・イベント情報などを発信していますので、ぜひご覧ください。



● 物理学科特設ページ(模擬授業の紹介)

主に神奈川県、東京都の高等学校を対象に、6つのテーマを用意し出張模擬授業を実施しております。詳しくは、北里大学理学部 物理学科特設ページ (https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys_sp/index.html) をご参照ください。



お問い合わせ先

理学部入試に関すること

TEL 042(778)9172 (入試係直通) FAX 042(778)9953

就職に関すること

TEL 042(778)8545 (学生課直通) FAX 042(778)9953

大学院入試に関すること(理学研究科入試係直通)

TEL 042(778)9083 FAX 042(778)9953

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「資格・就職」から「求人受付NAVI」（利用無料、企業登録手続きがあります）を通じ求人情報を入力することができますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受け付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方の既卒者専用「進路支援システム」がご利用できます。ご利用いただく場合には、下記①～⑤の情報を就職センターまでメールでお送りください。折り返し既卒者専用ID・パスワードをお知らせいたします。

*お電話でのお問い合わせはお受けしていません。在学時のID・パスワードは使用できませんので、ご注意ください。

■メール件名：進路支援システム利用希望

■メール本文：①氏名（フルネーム） ②卒業時の学部・学科・専攻 ③卒業年月

④学籍番号 ⑤システム利用の理由（例：転職等）

【北里大学就職センター】 〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

TEL 042-778-9745 E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ」

理学部同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会（以下、同期会等という）を開催される場合に、当該名簿リストやタックシールの提供、それに通信費用の援助を行う事業を行っています。加えて、平成29年より同期会等の開催を本会ホームページに掲載するサービスを新たに開始しておりますので、是非本制度をご活用ください。詳しくは理学部同窓会のホームページ（<https://kitasato-rigaku-d.jp/>）をご覧ください。表紙のQRコードもご利用ください。

「理学部パンフレット同封について」

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。同時に、右記の理学部デジタルパンフレットのQRコードもご利用いただけます。



「同窓会へのメールについて」

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載くださいますようお願い申し上げます。

<卒業年または卒業期、卒業学科、氏名>

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

「会報への寄稿について」

同窓会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽にご寄稿ください。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

編集後記

同窓生の皆さまこんにちは。化学科3期生の中野（旧姓鈴木）章代です。理学部同窓会報第29号をお届け致します。ご寄稿いただきました方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。2025年は皆様にとってどのような年だったでしょうか。日本初の女性首相が誕生しました。大阪万博も開催され、通い詰めてミャクミャクロスになられている方もいるでしょうか。北里柴三郎先生の新礼もだいぶ見慣れてきましたね。2026年も会員の皆様にとって素敵な1年になりますように。今年度も同窓生の皆さまの近況をご報告する記事「バトンタッチ」を掲載しています。毎回、次にご寄稿いただける方にバトンを渡していただく企画になっています。もしバトンが回ってきましたら、是非同窓生の皆さまにご自身の近況をご報告いただければ幸いです。その他にも、ご自身の近況を同窓生にお知らせしたいという方がいらっしゃいましたら、是非原稿をお送りください。また同窓会報につきまして、ご意見ご感想がありましたら事務局までお寄せください。

北里大学理学部同窓会報

発行 2026年1月31日

発行者 北里大学理学部同窓会

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032

E-mail: info@kitasato-rigaku-d.jp

責任者 甲斐恒人